



高経大生による空き家利用 「0号館」プロジェクト

高崎経済大学地域政策学部4年 みつはし 三橋 すみか 純香

2015年4月に「0号館」はオープンしました。0号館は、高崎経済大学から徒歩100歩にある古民家を大学生が主体となってリノベーションし企画運営しています。

大学から徒歩100歩

地域にひらけた「寄道校舎」を目指して

地方の国公立大学は中心市街地から離れており、大学生は地域の「人・食」と関わる機会なく毎日を過ごす傾向にあります。そこで、寄り道がてらに地域と交流が図れるコミュニティスペースを作ろうと、2014年4月に大学生によって発足したのが0号館プロジェクトです。

開始時は金銭や人脈がゼロからのスタートでした。自分たちの足を使って物件を探し、大家さんと直接交渉しました。20年間ほど空き家になっておりリノベーションが必要な状態だったので、空き家対策助成金やクラウドファンディング、地元企業のスポンサー協賛を資金に実施。一般的な店舗は開店までの過程をクローズにしていますが、古民家の大掃除や資金調達に至るまでを地域の協力のもと進めていき、メンバー自身が群馬の「人・食」に出会いながら開店までにこぎ着けました。

「足りないなら、創ろう」が合言葉

協力者を招いてのレセプションイベント「入学式」を経て、2015年4月初旬から本格的に運営を開始しました。エントラス料は無料で、フリーWi-Fiやコピー機を完備しています。(別途料金でドリンクバーを利用できます)毎日、学生や近所の方が勉強や読書、おしゃべりに訪れています。また2階の多目的室では打ち合わせなどに活用していただいています。また、「シェフに教わる！簡単お料理教室」「ゼミトーク」「子どもの日イベント」「大画面ゲーム対戦」などをこれまでに企画。ライフスタイルに足りないなと思ったものを利用者と一緒に創っていく仕組み作りを目指しています。

A very merry unbirthday!

(何でもない日おめでとう)な地域づくり

群馬県内の料理人による「日替わり食堂」や企業の採用活動・マーケティング活動のコラボ、古民家宿泊事業などを今後展開していく予定です。特別なたった1日ではなく、何気ない364日の寄道から出会いや発見が生まれる交流拠点づくりを今後も進めていきます。

昨今、空き家は大きな社会課題となっています。ごく普通的女子大生のアイデアが実現できたのですから、各地で自分の夢や野望を叶える場として空き家を活用していく動きが活発になればと思います。

「0号館」 営業時間：月～金10:00～23:00／日10:00～22:00(事前予約のみ)
所在地：高崎市下小埜町1387-3
連絡先：Ogokan.tcue@gmail.com ホームページやSNSも更新中！



発足すぐの写真



地域の方と学生の談笑写真



イベントの様子



2階の個室



1階の様子

